

令和4年度 南区 区域まちづくり事業 事業概要

所属名【南保健センター】

事業名	区民と協働した多職種連携健康づくり推進事業
事業目的	<p>区民と南保健センターの多職種（保健師・管理栄養士・歯科衛生士等）が協働して多面的な健康づくりの取り組みを実施することで、ソーシャルキャピタル（地域コミュニティ組織等の社会資本）を豊かにし、地域力を高めるとともに区民の健康レベルの向上につなげる。</p> <p>また、南区では他区に比べて20～59歳の生活習慣有病率が高く、青壮年層の健康課題があり、受診率も高血圧疾患が多く、将来のQOLへの影響および医療費の削減からも循環器対策が必要と考え取組をする。</p>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> ① 健康づくり推進委員会と南保健センターが、健康に関する課題等について情報交換や共有を行い、区民の健康づくりを推進する。 ② 青壮年層向けに乳がん・肺がんモデルなどの媒体を用いて、南保健センターを利用する方へ生活習慣病予防や検（健）診等の啓発、健康情報を発信する。 ③ がん検診啓発の媒体を作成し、保健センター事業や地域での健康教育時の啓発に用い、区内の学校や企業と連携し区民に健康づくりを啓発する。 ④ 青壮年層や無関心層への循環器対策をSNSを活用しながら実施する（ポピュレーション・ハイリスクアプローチともに通年実施）。
実施場所	南保健センター・南区各所
実施時期	<ol style="list-style-type: none"> ① 南区健康づくり推進委員会：5月、10月、12月、3月 ②③④通年
実施主体	南区健康づくり推進委員会、南保健センター
事業効果	<p>健康づくり推進委員会と協働することで、健康づくりに関する情報の届きにくかった区民にも伝えることができる。また、啓発媒体を用いて幅広く情報発信していくことにより、地域住民全体の健康への関心を高め、区民の健康レベルの向上につなげる。</p> <p>青壮年期から健康に関心を持ってもらうため、身近な健康チェックとして血圧測定をする機会を確保し自分の健康管理に取り組むことで重症化を防ぐことができる。</p>
活動指標	地域への啓発回数、関係機関への連携回数、SNSの利用者数等
備考	